

授戒会・御征忌会随喜寮舎紹介

■紫雲臺知客寮

栃木県

細川伸道



紫雲臺知客寮は、随喜寺院二十名弱、そして山内大衆若千名により構成されていきます。随喜

歴三十年を迎えるベテランの方丈さまから、送行したばかりの若手まで幅広い年齢層の随喜者が、年齢の垣根を越えて共に相敬い、ご本山への報恩の意を持って仕事に励むことの出来る団結力が自慢の寮舎です。

私たちの仕事は、春の報恩大授戒会、秋の御両尊御征忌会において、全国より推薦を受け御上山される焼香師さま、および随行の檀信徒の皆様方の上膳（お祝い膳）の場を提供

することです。上膳の場でありますので、〈修行としての食事〉とは一線を画しながら、焼香師さまの大役をねぎらうとともに、檀信徒の皆様とその喜びを分かち合えるような進行を心掛けております。輪島塗の二の膳つきで用意されるお祝い膳。和やかな雰囲気の中で召し上がっていただいたのち、「美味しかったです」と笑顔を浮かべながらお帰りになる姿を見ることが、私たちの何よりの喜びです。

華やかな焼香師上膳の席は、現場でお客様に相對する私たちだけで催されるものではありません。上膳の一品一品を調理してくださる典座寮、随行参拝団を引率する参拝団接客寮等、山内各寮に支えられております。

その横の連携Ⅱ和合の力を無にすることなきよう、焼香師さまに華を添える「本山の迎賓館」としての紫雲臺に身を置く寮員一同は、各寮への感謝と自らの誇りを胸に秘めて、最高の展待を目指し、微に入り細に

入り心を砕く毎日です。
これからも、自慢の団結力を礎として、焼香師さまそして随行の皆様、喜びと安らぎを提供できるよう努力して参ります。

合掌